



新年を迎えて年頭ごあいさつ

平成31年1月1日現在

人口	14,190人
男性	6,869人
女性	7,321人
世帯数	6,568戸



松本市本郷財産区 竹内 富治 議長

新年あけましておめでとう
ございます。平成最後となる
初春を、皆様におかれまして
は、穏やかに迎えられました
こととお慶び申し上げます。

松本市本郷財産区議会は、
市役所本郷支所内に事務局を
置き、本郷村合併の際に設置
され、議員定数十五名で組織
する特別地方公共団体の一つ
として扱われております。
本郷財産区は、山林を育て
る為、森林経営計画に基づき
作業（下刈、除伐、間伐）を
中心に進めてまいります。
特に「森林の里親促進事業」
など、事業を積極的に取り入
れ、大切な地域の「里山」と
して、次世代に引き継ぐべく
取り組みを行います。又、地

元本郷地区の皆さんに四季を
通じて、財産区の山の存在を
知り、身近に感じ、その大切
さを理解して頂く為、独自の
事業として、春は、一般希望
者を対象として、椎茸等の「駒
打体験事業」、夏は、地区内
のボランティアを募集して、
レンゲツツジ群生地地の「下刈
り事業」、秋は、「きのこ狩り
事業」、冬は地区内へ一般募
集を行い、正月用の松飾り用
の松を取り、併せて実生の松
の「枝打体験事業」を実施し、
山に係わって頂ける機会を
作って頂きたいと思います。
又、本郷財産区の特徴の一つ
として、希少植物に属する「タ
デスミレ」の生息地が財産区
の山にあります。現在全国で
確認されている生息地は、こ
こ本郷の山一ヶ所とも言われ
ております。タデスミレの保
護と共に袴腰のレンゲツツ
ジ、五輪草についても、保護
育成に努めてまいります。
結びに、本郷地区の発展を
心よりご祈念申し上げます。

各町会の三九郎



南浅間町会



水汲町会



浅間1・2・3町会



水汲公民館が新しくなりました

老朽化した
旧公民館を解
体し、町民皆
様のご寄付と
宝くじの社会
貢献広報事業
等により公民
館を新築しま
した。人口
800人の水
汲町民の交流
・福祉・防災
の拠点として
より豊かな地
域作りを目指
します。



12/15

本郷ふれあいコンサート

本郷地区人権啓発推進協議会
と本郷公民館の人権啓発研修
の一環とし
て『楽団ケ・
セラ』と『松
本あさひ太
鼓』による
コンサート
が開かれま
した。思い
やりにあふ
れた全13曲
が演奏され
聴衆を魅了
しました。



浅間温泉第2町会親睦旅行

晴天に恵まれた11月24日、
大町市の酒蔵を見学。北アル
プスの水に恩恵を受けながら
一行22名は大町温泉景水に浸
かった。宿では宴会に盛り上
がり楽しいひと時を過ごし
ました。



12/2

三九郎作り講習会

本郷小学校グラウンドで
三九郎作りの講習会が開かれ
ました。子供達とのお父さ
ん、お母さん達合計約40名が
参加。講習会終了後は子ども
会育成会の皆さんが作った豚
汁をいただき、冷えた体を温
めました。



温泉
間第7町会

町会会員世帯数
130。野球場西側の、
県営住宅集会所を拠点
に、活動を行っています。

当町会の特徴の一つとして、
自主防災会の充実強化と防災訓
練等への参画があげられます。
(1)計画的に防災資器材の整備を
図ります。(2)防災会の訓練を実
施します。(3)地区連絡協会等が
主催する防災訓練に参加しま
す。

防災計画は第12条、防災会規
約は第11条、大雪の対応と致し
まして除雪機運用ガイドライン
を第21条迄迄、除雪機も運用
しています。

わがまち わが町会

又、防災会
の予算を設
け、防災施設
整備積立金を
行い、松本市
の補助金を利
用し、必要に
応じて資器材等の購入に充てて
います。又、防災会組織構成及
び、自主防災組織別任務表に
て活動を行う様に、役割が明確
になっています。保有資器材は、
除雪機、低床のジャッキ、パー
ル、トイレ(ラップボン)、担架
発電機、投光器、折り畳み式の
リヤカー、ホース、ノズル、ス
タンドパイプ等で集会所の倉庫
等へ格納してあります。

山
才町会

三才山町会
は、本郷地区の最北端
に位置し女鳥羽川の上
流にあり自然豊かな地区です。
三才山トンネルが出来てからは
東信地方の玄関口として交通量
が多い地区となりました。地区
の中心に御射神社秋宮を有し、
小日向、本村、一ノ瀬の三地区
114戸で構成されています。
独自の取り組みとして、毎年三
月に「館報みさやま」を発行し
ており、今年で四十七号を迎え
ることになります。掲載内容は、

地区の一年の出来事、町会長、
役員のあいさつ、町会内行事や
子供会行事の様子等を伝えてい
ます。また、
新一年生と
新成人のあ
いさつ、転
入者(お嫁
さん、お婿
さん、紹介
さん)の紹介
なども掲載し
ています。



9/9

防災講座(第4回)

土砂災害を回避し、
賢く生き残るための方法論序説
〜本郷地区の土砂災害危険性を学ぶ〜



【講演概要】

●長野県の土砂災害環境

長野県は全国的には雨の少な
い地域であるが、土砂災害の
発生件数は、全国の都道府県
の中で常に上位を占めてい
る。

県内の土砂災害危険カ所は
1万6千件。松本は災害件数
の少ない地域だが、全県的に
みると10年から15年周期で土
砂災害が多発する傾向。

●土砂移動現象(災害)の種 類とその特徴

土砂災害には、土石流、がけ
崩れ(表層崩壊・深層崩壊)、
地すべりの3種類がある。
土石流やがけ崩れは急峻な斜
面で降雨を引き金として発生
する場合が多いのに対し、地
すべりは緩勾配斜面でも発生
する場合がある。

●土砂災害危険カ所とは…

本郷地区周辺の土砂災害危
険カ所

土石流は、勾配の急な溪流
でよく発生し、時速20〜40キ
ロメートルのスピードとなる。
がけ崩れは、大雨や長雨に
よって地面に水がしみこんだ
り、地震によって斜面が突然
に崩れ落ちる現象。

地すべりは、地下水が粘土
のような滑りやすい層にしみ
こみ、その上部の土塊がゆっ

くりと滑りだす現象。
逃げるときは沢の流れに対し
て直角が基本。防災マップで
事前に避難ルートを確認を。

●表層崩壊の特徴と発生メカ ニズム…災害の発生しやすい 場所

表層崩壊の発生する場所は、
降雨の時は集水性の高い谷部
で、地震の場合は尾根部で多
発する。
女鳥羽川右岸の地盤は比較的
良好だが、左岸は地震時に液
状化の可能性が高い。

●防災対策…事前の知る努力 と普段からの心構え

被害を最小限に抑えるため
には、住民一人ひとりが常に災
害と隣り合わせであるとの認
識を持つことが必要。
土砂災害の発生しそうな場所
は、斜面の勾配が30度以上の
場所や谷の出口など。
山崩れの前兆現象は、山の斜
面の亀裂発生や水の濁りなど。
1時間に20mm以上、降り始め
てから100mm以上の降雨量
になったら要注意。(バケツや
ペットボトルを使った簡易雨
量計も役立つ。)
家族ぐるみのハザードマップ
作りも一考!

■松本市防災マップは「こちら」

<http://www.city.matsunotomazagono.jp/hazard/index.html>

普段から自助の心がけを!
周囲の自然の性質をよく観察し、
正常な状態を知る
⇔
感性を磨き危険を察知

「防災と科学」について学ぶ
第4回講座が信州大学平松教
授をお招きし開講されました。
(信州大学出前講座)

※主催・共催

- 本郷地区町会連合会
- 本郷地区防災部
- 本郷公民館
- 長野県生涯学習推進センター